

ITツールで仕組みを整える！ デジタル化・AI導入補助金

AIやソフトウェアなどのITツールを用いた業務効率化やDX推進、セキュリティ対策に向けたITツール等の導入費用を支援する補助金です。

メモ 主要な申請枠

●通常枠（最大450万円 / 補助率：原則1/2）

「業務プロセス数」に応じて最大450万円を補助。会計、受発注、給与等の複数工程をAIやソフトで繋ぐことで、組織全体のDX化が可能。

●インボイス枠（ITツールの補助が最大350万円）

会計・受発注・決済ソフトの導入に加え、PCやタブレット（最大10万円）、レジや券売機（最大20万円）などのハードウェアも対象（補助率1/2）。小規模事業者のインボイス枠（50万円以下）は最大4/5に引き上げ。

★他にもサイバーセキュリティを進める申請類型もあります。詳細は下記のQRコードからご確認ください。

ポイント 申請の際の注意点

●登録されたITツールのみ対象

補助金の対象となるITツールは、IT導入支援事業者（ITベンダー等）が、事前に事務局の審査を受けて登録したものに限られます。「売上管理がアナログで非効率」や「人手不足で事務処理が滞っている」など、自社の課題を整理し、課題解決に役立つツールを選定することが重要です。

●単独申請は不可

申請は事業者単独ではなく、IT導入支援事業者との共同申請となります。申請は、IT導入支援事業者のサポートを受けながら進めることができます。

活用事例（製品導入イメージ）

【導入ツール】クラウド会計システム
【課題】仕訳や請求管理などの負担が大きい。給与計算と勤怠管理が独立しており、給与振込までのスケジュールが厳しい。

【効果】AIによる自動仕訳により経理処理の大幅な効率化を実現。給与計算業務に要する人員、作業時間ともに大幅削減！

今後のスケジュール

第4次締切：8月25日
第5次締切：9月29日
第6次締切：10月30日
※以降の締切については、ポータルサイトをご確認ください。

補助金ポータルサイト

申請要件や対象ツールの詳細、補助金額のシミュレーションはポータルサイトでご確認ください。



補助金活用術

～デジタル化・AI導入補助金・中小企業省力化投資補助金～

物価高騰と深刻な人手不足が続くなか、持続的な成長を遂げるための人手による解決には限界があります。前回の特集では小規模事業者向けの「持続化補助金」について解説しました。本特集では、ITツールや機械設備の導入によって、業務効率化を図ることを目的とした補助金制度を中心にお伝えします。

参考・出典：デジタル化・AI導入補助金2026、中小企業省力化投資補助金【カタログ注文型】、経済産業省（ミラサポplus）「中小企業庁担当者に聞く」、兵庫県「稼ぐ力の強化に向けた設備投資支援事業」
※本記事の内容は2026年7月時点の情報に基づいています。最新の公募要項や詳細は必ず公式HP等でご確認ください。

今、このような「お悩み」や「課題」はありませんか？

- ✓【売上拡大】設備を導入して、売上拡大を目指したい
- ✓【人手不足】求人を出しても集まらない、残業が増えている
- ✓【業務の自動化】事務作業や営業プロセスにAIやITを導入したい
- ✓【省力化】配膳・清掃・製造工程などにロボットを導入したい



その悩みや課題、補助金を使って解決してみませんか？
まずは「自社の課題に当てはまりそうか？」の目安として、次ページから紹介する3つの補助金の概要をチェックしてみてください。

補助金の活用イメージ

売上規模 イメージ	投資規模 イメージ	主な経営課題			
		売上拡大	高付加価値化	省力化・デジタル化	新事業挑戦
100億円以上	10億円以上	中堅等大規模成長投資補助金			
100億円 10億円	10億円 1億円	成長加速化補助金	事業継承M&A補助金	前回の特集記事にて紹介しました。	本特集はこちらの補助金を中心にご説明します。
10億円 数千万円	1億円 5千万円		ものづくり補助金※	省力化投資補助金	新事業進出補助金※
数千万	5千万円 数百万		持続化補助金	デジタル化・AI補助金	持続化補助金（創業型）

※「ものづくり補助金」と「新事業進出補助金」は統合され、「新事業進出ものづくり商業サービス補助金」となっています。